

平成27年度第2回延岡西臼杵 地域医療構想調整会議 次第

平成27年12月21日（月曜日）

午後3時30分～

延岡保健所2階講堂

- 1 開会
- 2 延岡保健所長兼高千穂保健所長挨拶
- 3 議題1 宮崎県地域医療構想（案）について
- 4 議題2 将来担うべき医療機能や目指すべき医療提供体制について
 - (1) 2025年度の医療需要と必要病床数の推計値について
 - (2) 県境を越えて生じている患者の流出入について
- 5 議題3 地域医療構想を推進する上で必要と考える施策について
- 6 議題4 その他
- 7 閉会

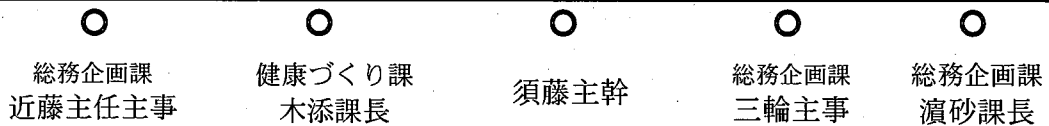
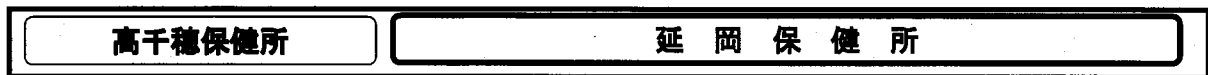
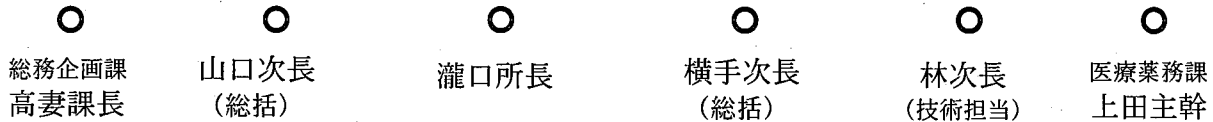
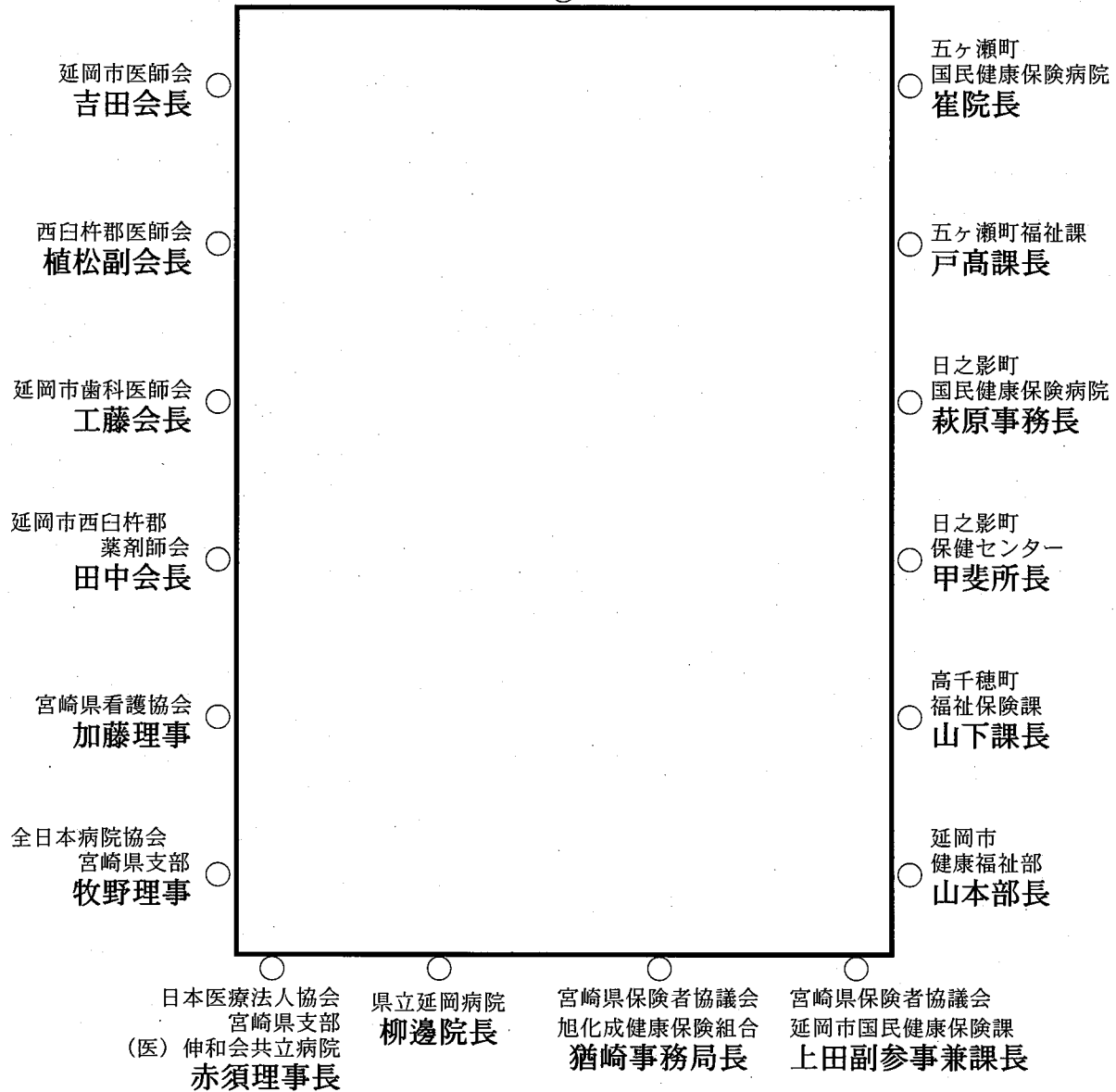
平成27年度第2回延岡西白杵地域医療構想調整会議出席者名簿

団 体 名	職 名 等	氏 名	出欠
延 岡 市 医 師 会	会 長	吉 田 建 世	出席
西 白 杵 郡 医 師 会	副 会 長	植 松 昌 俊	出席
延 岡 市 歯 科 医 師 会	会 長	工 藤 晃	出席
西 白 杵 郡 歯 科 医 師 会	理 事	中 田 和 之	欠席
延 岡 市 西 白 杵 郡 薬 劑 師 会	会 長	田 中 俊 一	出席
宮 崎 県 看 護 協 会	延 岡 ・ 西 白 杵 地 区 理 事	加 藤 千 鶴	出席
全 日 本 病 院 協 会 宮 崎 県 支 部	理 事	牧 野 剛 緒	出席
日 本 医 療 法 人 協 会 宮 崎 県 支 部	医 療 法 人 伸 和 会 共 立 病 院 理 事 長	赤 須 巖	出席
県 立 延 岡 病 院	院 長	柳 邊 安 秀	出席
宮 崎 県 保 険 者 協 議 会	延 岡 市 副 参 事 兼 国 民 健 康 保 険 課 長	上 田 眞 二	出席
〃	旭 化 成 健 康 保 険 組 合 理 事 長	猶 崎 和 弘	出席
延 岡 市	健 康 福 祉 部 長	山 本 雅 浩	出席
高 千 穂 町	福 祉 保 険 課 長	山 下 正 弘	出席
〃	国 民 健 康 保 険 病 院 長	久 米 修 一	欠席
日 之 影 町	保 健 セ ン タ ー 所 長	甲 斐 清 二	出席
〃	国 民 健 康 保 険 病 院 理 事 長	萩 原 二 三 男	出席
五 ヶ 瀬 町	福 祉 課 長	戸 高 勝 洋	出席
〃	国 民 健 康 保 険 病 院 長	崔 林 承	出席

※ 敬称略

平成27年度第2回延岡西臼杵地域医療構想調整会議配席図

議長



入り口

第2回地域医療構想調整会議開催に当たって提出のあった意見

議題2 将来担うべき医療機能や目指すべき医療提供体制について

(1) 2025年の医療需要と必要病床数について

- ・ 在宅医療を推進するためには、訪問診療や訪問看護などの体制を整備する必要があると思われるが、圏域は面積が広大で異動にも時間を要する環境にあることや、将来的に高齢化が進行し在宅での介護も困難になる可能性が高いことなどから、急速に体制整備が進むとは考えにくい。
このことから、地理的要件も病床数を検討する上で考慮する必要があるのではないかと。(延岡市)
- ・ 現在の病床利用率及び10年後の予測入院患者数を参考に、緊急時のことも考慮した上で現在各病院で利用されていない余剰の病床数から減らす必要があると思う。(高千穂町国民健康保険病院)

(2) 県境を越えて生じている患者の流出入について

- ・ 2013年度の医療需要(流出入)に記載のある熊本医療圏への流出、15.4人については、急性期の患者であるので、回復期や慢性期において、延岡西白杵医療圏に戻ることが想定される。
さらに、慢性期の患者も多く県外に入院等していることから、これらも医療圏域の入院病床の算定に反映させ、患者住所地ベースでの医療需要や必要病床数算定とする必要があるのではないかと。(延岡市)
- ・ 患者住所地に近い医療圏内で対応することがもちろん理想であるが、現在の延岡西白杵医療圏内の医療施設のキャパシティ、患者やその家族の希望等を考えると、ある程度の流出入を地域医療構想に反映することはやむを得ないのではないかと。(高千穂町国民健康保険病院)

議題3 地域医療構想を推進する上で必要と考える施策について

- ・ 地域医療介護総合確保基金の活用事業について、単年度の事業実施を支援しているだけでは効果の発現も低いと思われる。
また、実施すべき事業には、効果の発現までに長期間を要する事業も想定されることから、長期的視点に立った県の計画も策定し事業費の確保を図ることが必要なのではないかと思う。
※ 長期的視点の事業案・・・医療と介護の連携を推進する事業、訪問看護体制などへの進出を支援する事業や人材養成事業など(延岡市)
- ・ 利用者数によっては、急性期の患者を集約して受け入れる施設と、急性期は外来のみを受け付け、回復期や慢性期の入院を受け入れる施設といったような機能分化をする必要があると思う。そのような病院の機能転換を支援する施策が必要だと思う。(高千穂町国民健康保険病院)

議題4 その他地域医療構想全般について

- ・ 宮崎県の地域医療構想については、機能別病床数を調整することが先行しており、在宅医療へと移行する上での医療資源の確保策など、前提要件とされる対策が明確にされていないと思う。(延岡市)
- ・ 地域医療構想は、地域の実情に応じた課題を抽出し、課題解決に向けた施策を住民も含めて幅広く検討し、合意をしていくことが想定されていると考えている。
現在審議されている地域医療構想は、病床再編に重点を置いた計画となっていると思われる。(延岡市)